

寺報

常清寺だより

住職挨拶

榮玉山 常清寺 第二十三世

住職 片山慶宣

今年も年の暮れが近づき、檀信徒の皆様もあわただしくお過ごしのことと存じます。本年は記録に残る猛暑、五月初旬より十月中旬までの夏日、いささか体も悲鳴を上げております。そしてこれから、インフルエンザ蔓延の恐怖、気の休まる暇もございません。最近マスクをされている方が減ってきておりますが暮れからお正月人ごみに出かけることが多くなります。くれぐれもお気をつけ下さい。令和八年を迎えるにあたり擁壁工事と駐車場整備もほぼ完成し、来年からは建物に手を

付けてまいります。しばらくご不便をお掛けいたしますがご協力お願い申し上げます。令和八年には開山三百五十年記念法要並びに法灯継承入寺式も予定いたしております。

片山徳宣が第二十四世の法灯を継承致します。私は金龍王山匡真寺(きょうしんじ)という私の祖父が建立致しましたお寺が川崎市麻生区高石一―六―三十番地にあり、そのこのお寺の第三世として法灯を継承致します。お檀家が少なく閑静なお寺ではございますが住宅街の中で境内は三百五十坪、本殿、客殿、庫裏としっかり整備されております。お近くにお寄りの際はいつでもお参りください。

郵便局振込料金について

護持会等お願いを致しております赤い振込用紙の場合 窓口・ATM・通帳・カード払いの場合・手数料は掛かりませんが、現金払いの時は一〇〇円の手数料が掛かります。ご注意ください。

新年祝禱会

十二月三十一日午後十一時三十分より納めの法要

一月一日午前〇時より新年祝禱会

簡単なお食事の用意を致します。ご参加をお待ち致します。

護持会費納入のお願い

お願い

当山護持、運営の大切な浄財です。檀信徒の皆様のご協力を、お願い申し上げます。なお事務処理上、同封の振り込み用紙をご利用頂ければ幸いです。

一口 一万円

★宛名、住所変更、あるいは間違えがございましたら、お知らせ下さい。

★例年の如く方除けのお札を同封致します。大掃除が済みましたら、玄関の内側、上の方に、金色の方を家の中に向けてお張り下さい。

★御法要希望の方は土、日曜日は法要が多数重なります。御希望の日は早めにお知らせ下さい。お塔婆希望の方は二週間前 FAX又は、お手紙で、読み仮名を付け、お知らせ下さい。

郵便番号

二三二一〇〇〇七

住所

横浜市南区清水ヶ丘二三一日蓮宗

榮玉山

常清寺

住職 片山慶宣

電話

〇四五―二三一―八六六二

FAX

〇四五―二三一―三〇二八

副住職のお便り

今年一年を振り返りについて...

副住職 片山 徳 宣

今年もわずかととなり様々な事を思い出すと私自身は三年ぶりに飛行機に乗ったりと法務で地方に行く機会が元に戻りつつある様に感じます。国内でも外国の方が増えたな、と実感します。四月に沖縄、静岡と日帰りの法務がありましたが、空港、駅の中、機内、車内と大きなバッグを持つ外国人で驚きました。今迄は当たり前前の光景が懐かしく感じる・・・。それだけ抑制された三年間だったと思います。さて、国内の出来事に目を移すと色々な事がありました。シャンシャンが中国に返還されたり、東日本大震災犠牲者の十三回忌、コロナ五類移行、関東大震災百年など書き上げたらキリが無いのですが・・・。私も日頃かなり気を付けて行動はしていましたが、つい

にコロナに感染してしまいました。心の緩みですね・・・。

症状は千差万別でしょうけど「二度と感染したくない」この一言に尽きます。感染した方は皆さん同じ思いでしょう。

世の中から消えることは無いのかもしれませんが嫌なウイルスです。来年はコロナに感染せず楽しく過ごしたいものです。

お檀家の皆様とも笑顔でお会いしたいです。

最後にお寺でのご法事に関しましては、マスクの着用は各個人のご判断にお任せ致します。

ご葬儀でもお寺の式場に関しては同様です。

〜追伸〜

令和六年度より納骨堂の供物を衛生上毎週月曜日に撤去させて頂きます。ご理解の程、宜しくお願いします。

開山三百五十年記念事業の進捗状況について

護持会会長

開山三百五十年記念事業

広報委員長 我妻隆介

令和五年も最終月となりました。お檀家の皆様にはご健勝の御事と拝察申し上げます。常清寺は令和八年二月に開山(創建)三百五十年の節目を迎えます。又この時を以って現ご住職が勇退され副住職に法灯継承なされる事が表明されております。

この二つの慶事を祝うべく寺院に記念事業委員会と広報委員会が組織されました。そして昨年七月、お檀家の皆様に記念事業推進のための勧募をお願い致しました。コロナ禍の経済不況と諸物価高騰の折りではございましたが多くの檀家から浄財を賜りました。誠に有難く厚くお礼申し上げます。この浄財を基にま

要が行われました。(昨年十二月の当寺報に記載)更に今年に入り隣接地の購入、地鎮祭を実施(今年の六月号に記載)、

現在は隣接地境界の擁壁工事と駐車場整備工事を行っております。これらは年内に完了予定です。更に来年(令和六年)には寺院の外装工事を予定、再来年(令和七年)には寺院内部のリフォーム工事が予定されております。そして令和八年に開山三百五十年の慶讃法要と、法灯継承の行事全般を迎えます。計画している全てを完結するためにはもう一段、二段のご寄進が望まれますので御寄進が未だの方は何卒よろしくお願い申し上げます。(ご寄進は一口五万円、一口以上となっております。振り込み方法などの詳細は寺院におたずね下さい。)

計画が完結された暁にはお檀家の皆様方にとりましてきつと便利で過ごし易い寺院になると思っています。この他、広報委員会では今回の一



昨年秋、再建立工事が終わった法界萬靈供養塔2基、馬頭観音供養碑2基

連の記念事業と記念行事の全てを記録した記念誌の発行を期すべく広報委員が既に作業を始めております。どうぞご期待下さい。
最後にお檀家各位様の新年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



駐車場側(2023.10撮影:工事は未開始)



ほぼ完成した擁壁工事(2023.10撮影)

常清寺役員移動のお知らせ

本年八月、筆頭総代をお務めになられていました竹村統身様が一身上のご都合により退任なされ、後任の筆頭総代に行政上の手続きにのっとり総代をお務めになつていた大野隆司様が就任なさいました。
ここに大野新筆頭総代様からのご挨拶を掲載いたします。

檀信徒の皆様へ



筆頭総代
大野隆司

年末となり何かと慌ただしい昨今でございますが榮玉山常清寺檀信徒の皆様には益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。

榮玉山常清寺開山三百五十年を前に大役を仰せつかつて日々緊張が増しております。住職、副住職、総代会、護持会、世話人会、先輩役員の皆様のご協力をお願いして乗り切りたいと思っております。この所三年にわたるコロナ騒ぎがあり、

人々の意識が内向きに變化したと言われる昨今、榮玉山常清寺檀信徒の方々の意識を葬儀や法事以外でもお寺に集まり集う向きに變化していくためには如何にしてやっていくか?そのためにはこれからのお寺はどうするべきか?お寺に集まり集う檀信徒は如何にするべきか?

『意識と変化』が問われることになる大きな節目となつて来ました。お寺も檀信徒も意識と変化が必要になつて参りました。

これからは毎年二月二十日に行われる総会(合同役員会)の役目がより大きくなつていくものでしょう。

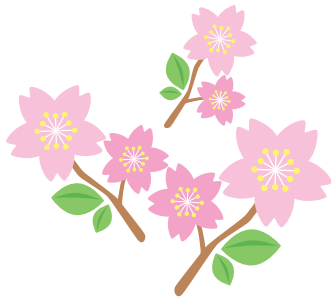
私は現在、プランターでイチゴの栽培を楽しんでいます。今年の夏は一日三回の水やりを追われる日々を過ごしました。夏は新しい苗を増やす季節『意識』です。『変化』に追われる日々でした。

間もなく新しい年を迎えます。檀信徒の皆様にはおすこやかな新年をお迎え頂けますようお祈り申し上げます。

お会式のお花づくりご報告

皆様にお手伝いをお願いしておりますお会式のお花づくり、今年のお花も本堂両脇に飾られご報恩感謝の心を込めてのお会式に鮮やかに咲いてくれました。

お会式は日蓮大聖人を偲び感謝をお伝えする報恩会です。常清寺では十月十二日午後一時三十分より厳修されます。毎年日時は決まっておりますので次の報恩会には是非ご参加いただけるようご案内申し上げます。



お手伝い下さった方々



令和6年度・修養会・清正公開催日

修養会題目会		久保山	
1月12日	修養会	午後1時30分より	
2月12日	修養会		
3月12日	修養会		
4月12日	修養会		
5月 5日	国禱会	午前10時より午後4時まで	
5月	自我偈百部経の為お休み		
6月12日	修養会	午後1時30分より	
7月12日	施餓鬼法要	新盆 午前11時・一般 午後2時	
8月12日	旧盆回向の為お休み		
9月12日	修養会	午後1時30分より	
10月12日	お会式		
11月12日	修養会		
12月12日	修養会		
清正公祈禱会		長者町	久保山
1月24日	清正公祈禱会	午前11時より	午後1時30分より
2月20日	一慶院上人 祥月命日法要		
3月24日	春彼岸回向の為お休み		
4月24日	清正公祈禱会	午前11時より	午後1時30分より
5月 5日	国禱会	午後2時より	午前10時～午後4時まで
5月24日	国禱会の為お休み		
6月24日	清正公祈禱会	午前11時より	午後1時30分より
7月24日	清正公祈禱会(ほうろく灸)		
8月24日	清正公祈禱会(ほうろく灸)		
9月24日	秋彼岸回向の為お休み		
10月22日	清正公祈禱会(水子供養)	午前11時より	午後1時30分より
11月22日	不染院上人祥月命日		
12月24日	清正公祈禱会		

1月1日午前0時より新年祝祈会厳修御参加お待ち申し上げます